

調布「憲法ひろば」

WEBサイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第10号

8月23日
2005年

発行=憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15
あくろす2階 市民活動支援センター内
メールボックス6番
FAX番号: 0424-83-1566 大野気付

E-Mail: chofu9jou@yahoo.co.jp

合宿後の予定、あなたの手帖に!

- 9月25日(日)13時30分~:あくろす3階
第8回「憲法ひろば」(9月例会)
- 10月16日(日)13時30分~:あくろす3階
第9回「憲法ひろば」(10月例会)
- 11月については未定
- 12月3日(土)10時~21時:くすのきホール
映画「父と暮らせば」上映会(実行委)
第11回「憲法ひろば」(ひろばのつどい)

憲法への思い、ひろばのあり方

第7回調布「憲法ひろば」例会は、8月20~21日に「合宿」形式で開催。日帰り参加者も含めて38人の皆さんが、思いっきり意見を交わしました。

合宿で深めました

第7回「憲法ひろば」に38人

緑と蝉しぐれに包まれた「大学セミナーハウス」。世話人の石川康子さん(布田)と石山昭男さん(西つじヶ丘)の司会(左写真)で十五時に開会。

最初の集まりからちよと二年

「『九条の会』アピールに込める最初の集まりは昨年(八月二〇日)と、大野哲夫事務局長(菊野台)が「ひろば」が前史を含めて一周年を迎えたことを宣言。この「合宿」は「ひろば」の「これまでどこから」を深め



九条の会事務局 川村俊夫さんを迎えて

「九条の会事務局の川村俊夫(上写真)さんは、小泉首相の国会解散は「君主気取りのやり方で、憲法を支配の道具に変える観点そのもの」と指摘。

改憲策動と九条の会のいま

改憲は一九四五五年の平均寿命を男二三・七歳、女三二・三歳に縮めた戦争と弱肉強食の時代への逆流。自民党はまず九条二項(戦力不保持 交戦権否認)と九六条(改正要件)を変え、その後は毎年でも各条項を変えようとしており、民主・公明両党もそれを認める改憲案を掲げている。これらが破壊するのは平和的権利だと強調した川村さんは、職場や地



多彩な報告も続出

この後、終戦の日を韓国で迎えてきた丸山重威さん(東つじヶ丘)、中国から帰国直後の富永信哉さん(深大寺東町)が伝える最新情報、山崎馨さん(深大寺元町)のパネル付き戦争体験(代誌)、映画「日本国憲法め上映を受けてから「果てしない討論?」が続きました。



宿泊できない参加者も含め、会場でも、食堂でも討論と談笑は絶えることがなく、二四人の宿泊者の場合はデスマッチ(下写真)。女性たちが響きました(驚)。

二日目も、新たに駆けつけた参加者も加えて九時から正午まで討論が行なわれました。

各人がそれぞれの分野で活躍していることを相互に認識しあい、その実践を持ち寄って相互信頼を育てること、…「ひろば」のたいせ

つな意義がここにありと確かめ合った合宿でした。

Amphibious Wars (下写真)

今後の課題について、調布も「無防備都市宣言」を!、戦争の惨禍を伝える多摩戦跡の保存を!、憲法的一条一条を守り抜いたたいを!などの決意や意見が出されました。世話人会提案の「父と暮らせば」上映会(十二月二日)にも、一人ひとりの連帯の場としての「ひろば」を大切にす立場からの深い検討が加えられました。

時のたつのもよみながら